

議会だより 吉野ヶ里

25号

平成24年
9月定例会



高得点を目指し盛り上がった
みんなでジャンプ(町民体育大会より)

● 平成23年度 決算審査	2-3
● 決算特別委員会 質疑応答	4-5
● 9月定例会	6
● 要望活動	7
● 議案賛否状況	8
● 一般質問	9-19
● 傍聴者の声・編集後記	20

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ピー【発行年月日】平成24年11月1日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>
にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

会計別決算状況

会 計	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一 般 会 計	76億2,697万2,043円	73億8,729万5,589円	2億3,967万6,454円
国民健康保険	17億4,244万7,699円	15億9,883万1,364円	1億4,361万6,335円
下 水 道	7億9,668万8,848円	7億7,051万5,847円	2,617万3,001円
簡 易 水 道	257万 825円	241万3,822円	15万7,003円
後期高齢者医療	1億3,793万6,026円	1億3,566万7,750円	226万8,276円
合 計	103億 661万5,441円	98億9,472万4,372円	4億1,189万1,069円

決算特別委員会報告

平成23年度一般会計、特別会計の5会計決算について、平成24年9月6日・7日の2日間において、歳入歳出決算書、監査委員の決算審査意見書及び健全化判断比率等審査意見書、当該決算における主要な施策の成果説明書等で審議を行った。

【一般会計歳入歳出決算】

収入未済額は、9840万3257円で不納欠損額は375万974円、収入未済額の主なものは、町税が7434万472円、保育料保護者負担金528万3920円、町営住宅使用料等が1859万3385円である。

翌年度へ繰り越す明許繰越額9068万5000円があり、歳入歳出差引額2億3967万6454円であるが、実質収支額は1億4899万1454円の黒字となっている。

【国民健康保険特別会計歳入歳出決算】

収入未済額は7932万2126円で、不納欠損額は316万5400円である。

【下水道特別会計歳入歳出決算】

収入未済額は、公共下水道が464万6880円、農業集落排水が487万9870円で計952万6750円である。

【後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算】

普通徴収保険料において、99万200円の収入未済額があった。

決算特別委員会委員長 古川 輝英

決算審査意見書

平成23年度各会計の決算審査の結果、各会計とも適正に処理されていた。

繰越事業遂行については、事業の執行の遅れにより事故繰越がないよう計画的に推進すること。

全会計において、収入未済額については減となっている。これは、県滞納整理推進機構での研修が生かされ職員の努力によると考えるが、収入未済は、利用する住民の公平な負担の原則から逸脱しているため、条例や契約内容を吟味し不公平感が出ないように早急な対策を求める。

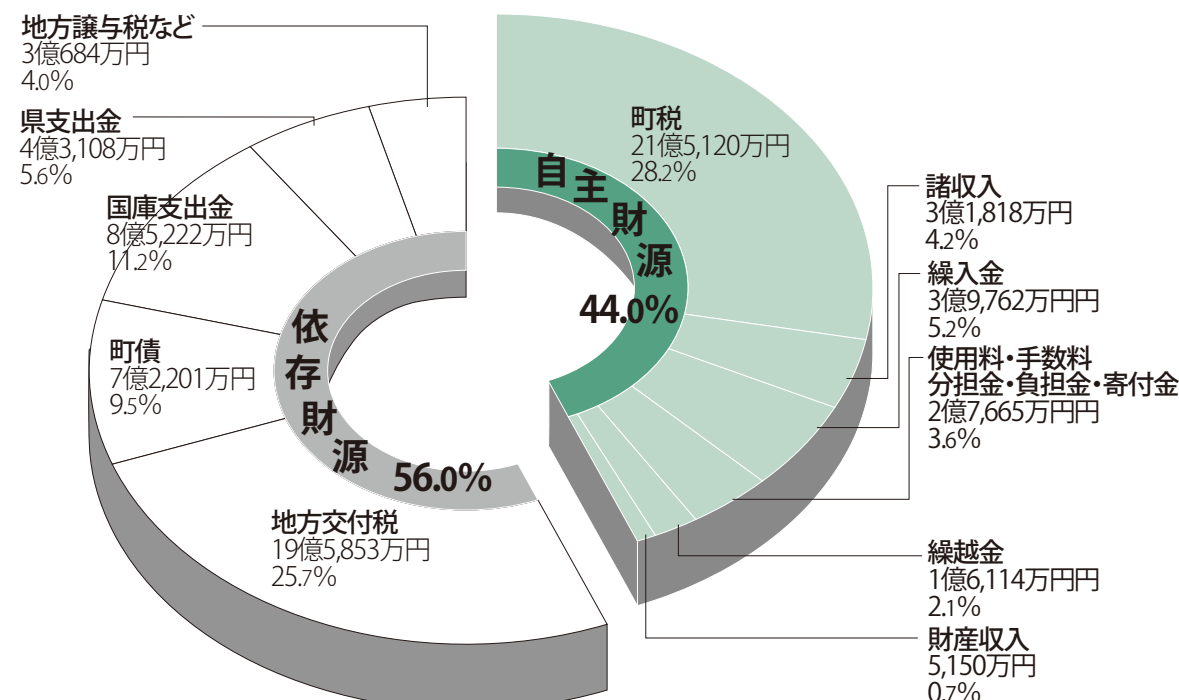
現在の経済状況からは、町税等の一般財源の大幅な伸びが期待できない中、健全財政確立のため財源確保に努め、予算の計画性、有用性、効率性を高める執行を望み、更なる努力をされたい。

(決算審査意見書より抜粋)

吉野ヶ里町監査委員 中島 明彦
同 吉富光三郎

一般会計歳入

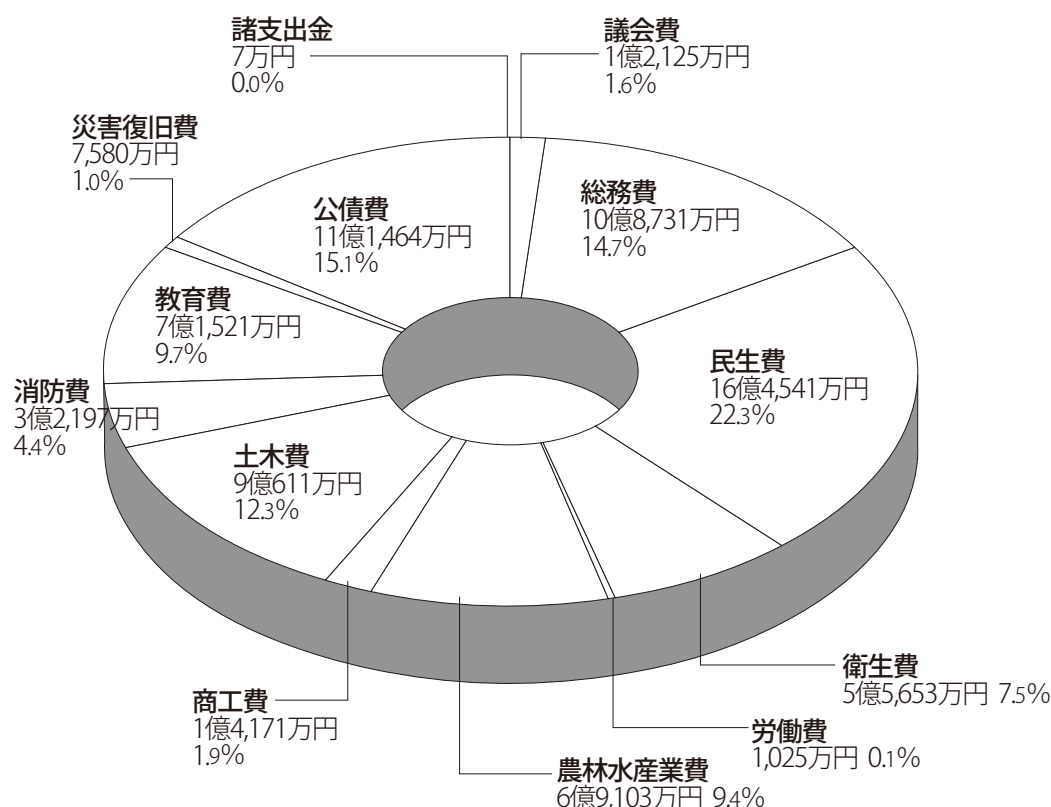
歳入総額 76億2,697万円



9月定例会は9月5日から14日までの会期で開催された。平成23年度決算は決算特別委員会で審査、二日間の日程で集中審議し、本会議での委員長報告を受け、全員一致で全会計5議案が認定された。

一般会計歳出

歳出総額 73億8,729万円



実質公債費比率は15.5%
(18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

経常収支比率は93.9%に上昇
(財政の弾力性を判断する指数 80%以下が望ましい)

決算特別
委員会

質疑応答

歳入

法人町民税が減った理由は

Q 法人町民税が前年に比べ約3億2千万円減となった、その理由は。

A 景気の低迷により、減産や従業員減など、企業の動向により減となっている。

地方交付税算入は

Q 町立幼稚園、町立保育園はどれだけ交付税に算入されているか。

A その他の教育費に算入されている。平成24年度では幼稚園2千5百万円、保育園427万円となっている。

入湯税の減免は

Q 入湯税の減免は、どのような理由で

減免しているのか。

A 現在減免の申請はあっていない。今後条例に基づいて、厳格に処置する。

教育使用料の減少は

Q 体育施設の使用料が毎年減少している。スポーツ振興を図っているというが、その理由は。

A 個人での健康づくりはなされているが、団体のスポーツ活動が減っている。そのために体育施設の使用料が減少している。

増え続ける

住宅使用料の滞納

Q 住宅使用料滞納繰越額が毎年増加している。どのような対策を行っているのか。

A 前年額を上回ったことに対しては、責任を感じている。

歳出

出生祝金の実績は

Q 出産祝金の実績は前年度より増加しているが、内訳はどうか。

A 第一子68名、第二子56名、第三子42名、第四子3名、第五子3名となっており、第三子以降の出生が増加した。

地区の〃わ委員会はいつまで

Q 地区の〃わ委員会の加入状況は何地区か。また、補助事業はいつまで行うのか。

A 平成22年度は15地区、23年度は18地区が実施している。この事業は、平成27年度までの計画となっている。

住基ネットカードは

Q 住基ネットカード作成委託料の内訳及びカードの普及はどうか。

A カードの作成費は一件1375円。普及は、平成20年度70件、21年度79件、22年度63件、23年度51件となっている。

税の納入方法は

Q 賦課徴収費手数料で、4税の納入方法の割合及び金融機関等の手数料は一件いくらになっているのか。

A 直接納入が74.45%、金融機関が15.85%、コンビニが9.71%である。また、手数料は、金融機関は一件・10円、コンビニは一件・57円(消費税別)となっている。

巡回バスの実態は

Q 巡回バス運行補助金1724万9075円支出しているが、補助金の内容と利用料金の額はいくらか。

A 一台一日に3万6千円(延べ488

日)、その他27万900円となっている。利用料金は、58万9千825円である。

健康づくり事業

Q 健康づくり事業に約1378万円の経費を使っているが、年間の延利用人数と一人当たりの経費はどれくらいになるのか。

A ふれあい館は述べ7161人で一人当たり69020円、きら館の昼は、13352人で、一人当たり35605円、きら館の夜は、3805人で、一人当たり34778円になる。



通園利用の風景



電気自動車充電器

電気自動車用充電器の利用状況は

Q 山茶花の湯に設置されているが、その利用状況はどうなっているのか。

A まだ、電気自動車普及していないこともあり、設置してからの利用者は少ないのである。

じん芥処理負担金の増額は

Q じん芥処理負担金が増額になっている理由は。

A 燃料費、委託料が16時間操業になり増額になった。事業者ゴミ及び家庭などの持ちゴミの増加によるものだ。

温泉のホームページ等でPRしている。

Q 100%県補助金で設置された施設だが、管理は何処でやっているのか。

A 現在は、温浴施設の指定管理者にまかせている。

めいぶつ館今後の活用は

Q 国のコンシェルジュ事業で取り組んだが、閉鎖からすでに6ヶ月が過ぎ、国営公園の玄関前に、そのまま放置しておくのか。

A 町内に公募し、目的に沿った話が来ているので、現在協議している。

住宅リフォーム緊急助成事業の現況は

Q 町内で1327万ほど支出されているが、その件数と、町内業者への発注はどれ程か。

A 23年度の実績は、全体で63件、内26件が町内業者で、町内業

者への発注には、5%以上乗せて助成している。

子供クラブ訪韓の翼参加状況は

Q 訪韓の翼、どれくらい参加者がいるのか、申し込みは何人でも行けるのか。

A 昨年は6年生が13名5年生が5名の18名が参加、県全体で75名となっているが、過去3年、町内からの応募者は全員が参加している。

トムソーヤの森管理状況は

Q 利用者が夏休み期間中だけでも、減少しているが、管理状況はどうなのか。35万円で管理できるのか。

A この金額は、キャンプ期間中の夜間警備料で、他に草刈り、補修等も行っている。

猪対策の効果は

Q 水源地域振興事業で猪防護柵の設置をしたが、その効果は出

ているのか。

A 大字松隈の3地区で23年度から実施し、今年度で完了となる。効果としては、かなり封じ込めたと思う。

Q あまりにも実態を知らなすぎる。松隈地区集落内を親子連れで、夜中徘徊しているのが現状である。それと捕獲頭数は何頭か。

A 町内での頭数は、昨年が57頭である。

神埼地区消防事務組合分担金

Q 分担金の内、5千万円は、積立金と言われたが何の積立か。

A 23年は佐賀中部広域との統合が決まっておらず、神埼地区で消防救急無線のデジタル化に向けての積立金である。

統合後、この5千万はどのようになるのか。

A 24年度末の決算において整理すると聞いている。

教育問題について

Q 文化と教育の町づくりで努力されたが、残念な事に現状は、学力低下、非行問題等はどうするのか。

A この件で町内4校の教職員を集めて、研修会を開き、協議をし、再度見直して行く確認をした。

Q ICT環境整備で電子黒板を購入しているが、活用状況はどうか、そしてその効果は。教師のアンケートでは、活用しやすい。



ICT活用授業風景

いと言われている。

基金の活用状況

Q 基金の中で有価証券が、23年度中で4億2千万円増加し、総額で14億3千万円になっているが、この運用の種類と利回りは。

A 国債で運用しており、期間は数ヶ月〜5年物で利率0.1%〜0.5%までの範囲である。

国保特別会計について

Q 国庫への5千万円の返還金の通達が来ているとの事だが、説明を。

A 国の療養交付金であり、積算が年度の前半にされて、23年度に交付される。それを年度後半までの積算で、次年度に返還する事になっている。

前年度の医療費が増えた分、交付が多くされたので返還の通達があった。



平成24年度9月定例会

9月定例議会は、9月5日～14日までの10日間の会期で開催され、報告2件、議案16件（条例改正2件、規約変更を含む）、諮問1件、決算認定5件、意見書4件、1議案を除き、全ての議案、諮問、意見書は全員賛成で可決されました。

条例の改正

○地域農業水利施設ストックマネジメント事業
分担金徴収条例

注釈 事業により利益を受ける者から、事業に要する費用額の10%を徴収する、新たな条例です。

○防災会議条例及び災害対策本部条例の一部を改正する条例

注釈 災害対策基本法の一部が改正されたためです。

専決処分

（議会の議決が必要な時に、議会を招集する時間的余裕がない場合に行われます。）

○一般会計補正予算第2号

一般財源より262万5千円支出されました。

注釈 8月20日、三田川庁舎の空調機器が故障し、機能しなくなり、修理代金として支払う金額です。

補正予算

歳入歳出それぞれ1億6948万3千円を追加し、総額72億5922万9千円となりました。

（歳出の主なもの）
○賦課徴収費過年度清算金 995万3千円

注釈 前年度に税金を多く納めた人、企業等に戻すお金です。

○予防費・委託料 522万3千円

注釈 不活化ポリオワクチン予防接種をお願いするお金です。

○農地費 工事請負費 500万円

注釈 農地に引かれていく導水管が古く、腐食による漏水等の修理代を事業費の25%を補助するお金です。

○商工費 補助金 538万円

注釈 吉野ヶ里きずな義援金付プレミアム商品券発行に補助するお金です。

商品券は11月15日から発売予定です。

○都市計画総務費 補助金 1840万円

注釈 住モリフォームされる方に助成されるお金です。

10月22日から受付予定です。

○常備消防費 委託料、土地購入費 561万2千円

注釈 現在のリサイクルセンターが、佐賀中部広域連合（佐賀広域消防局）吉野ヶ里出張所になりますが、土地が狭小のため、測量をやり、土地購入のお金です。

○林業施設災害復旧費 工事請負費 803万8千円

注釈 林道松隈線、林道佐賀東部線復旧工事代金です。

諮問

議会に意見を求めるもので、今回は人権擁護委員の推薦願いでした。

吉野ヶ里町大曲

柿本一義さんが全員賛成で人権擁護委員に推薦されました。（再任）

意見書 4件

意見書第6号（要旨）
地方財政の充実・強化を求めるもの。

意見書第7号（要旨）
李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓外交の見直しを求めるもの。

意見書第8号（要旨）
香港民間団体による領海侵犯及び尖閣諸島不法上陸に関し、国会及び政



▲日中間で問題になっている尖閣諸島

かにするため、現場海域で撮影した映像を早急に公開すること。

②今後、同様の事案があった場合、中国に対し断固たる抗議を行うこと。

府に強く求めるもの。

意見書第9号（要旨）

国立病院の廃止、縮小、民営化に反対し、地域医療と国立病院の充実を求めるもの。



意見書第8号要約

日本政府による沖縄県尖閣諸島の国有化に抗議する反日デモなど暴徒化する事は極めて遺憾であり、吉野ヶ里町議会は意見書を提出します。

①政府は事実関係を明ら

(3) 基地交付金の見直し及び増額

①基地交付金については、駐屯地内の全施設を対象資産とすべきである。

②固定資産税の算定基準により交付すべきで、駐屯地が住宅密集地にあ

(4) 周辺整備交付金の増資と運用

施設周辺地域の生活環境整備が求められているなか、交付金の増額と使途運用については、より一層の柔軟な対応を要望します。

(5) ヘリコプター騒音対策（防音施設強化）

対戦車ヘリ隊、西方ヘリ隊、第4飛行隊が配備されている目達原飛行場は、周辺が住宅密集地で



▲目達原駐屯地に配備されている対戦車ヘリ

(7) 保安用地の拡大（通称三角地）

滑走路東側に隣接する地元住民から、移転の強い要望もあり、保安用地約4万1500㎡の拡大を強く要望いたします。

活用として、九州地区

活動要望

総務省・防衛省・県選出議員・民主党本部 目達原駐屯地周辺整備事業を要望

去る7月31日から8月1日の日程で、町長、議長、議員6名、事務局2名で目達原駐屯地周辺整備7事業について、総務省、防衛省、県選出国會議員、民主党本部幹事長、副幹事長に要望活動を行った。

要望事項は、(1)周辺道路改修等について (2)消防ポンプ自動車整備について (3)基地交付金の見直し及び増額について (4)特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額について (5)ヘリコプター騒音対策について (6)第一種区域の基準の緩和について (7)保安用地の拡大について、基地の町として当面する懸案事項を訴え、周辺整備を強く要望した。

(1) 周辺道路改修（吉野・田手村線）

国道34号の朝夕渋滞状況の中、有事・訓練の際、駐屯地と長崎自動車道東脊振インターを結ぶ基幹的な道路である町道吉野・田手村線は、隊員や周辺企業の社員などの通勤路として、朝夕の車両は特に多く、小中学校の通学路としても利用されています。

計画区間には歩道もなく、大型車両通行時には、一般車両や歩行者ともに接触の危険性があります。併せて、町地域防災計画により指定された地域

緊急輸送道路であり、避難所になっている小中学校や中央公民館、健康福祉センターと地域をつなぐ主要な避難路でもあります。

(2) 消防ポンプ自動車整備

町内のほとんどの地域がヘリコプターの飛行訓練の圏内であり、墜落事故等による火災などの災害に危機感を抱いており

ます。今回要望しております消防自動車の配備予定地区は、隊員官舎や町営住宅等が隣接しており、老

今後、緊急時の消防、救急活動の円滑化のためには、本計画道路の整備が必須となります。

つきましては、事業完了に向け引き続きご支援方を要望いたします。

朽化が進んで機能低下している消防自動車の入れ替えが切望されています。つきましては、早期に採択いただきますようお願いいたします。

※今回の消防自動車の入れ替え予定部は、南部第2分団第2部（上・下中村、曽根、立野地区）

問 候補地の選定に
ついて、合併後の
6年間、吉野ヶ里町内
において適地の検討をした
のか。特に土地開発基金
所有地で候補地はないの
か。又、神埼市の地区に
おいて計画が進んでいる
が、何故この候補地とな
ったのか。従前から、こ
の候補地は土木工事に
莫大な費用が必要である
と指摘してきた。もっと
安価で取得できる場所を
選定すべきである。地元
からの要望書を重視し、
安易に進むことだけが優



立石 良雄 議員

答 建設費用負担に
ついての現候補地
における費用は、用地取
得及び建設費用ばかりで
なく、その前に土木費用
が巨額になることは明白
である。従って、神埼市
が本来負担すべき費用の
仕分けが必要であり、そ
の仕分け終了後の純然た
る費用について本町の負
担割合の協議に入るべき
である。

答 次に費用負担割合につ
いては、本町は神埼市の
人口の2分の1の人口で
あり、三養基西部葬祭組
合の様に均等割、平等割
を除き、人口割のみと主
張すべきである。



▲葬祭公園建設予定地

また、その財源について
も従前から言っているが、
合併特例債の安易な借入
は厳に慎むべきである。

問 里町が財政難に直
面する危機感が全くない。
保育園の民営化について
調査され、費用負担が出
てくる。

問 里町は、吉野ヶ
里保育園のみで採算が
取れているのか、公設公営
と公設民営を
比較した場合、
1年間で4千
3百万円の差
があると行革
推進委員会
の会議で証明
されている。
何故早く民営
化を進めない
のか。

答 一方、保護
者への十分な
説明が必要で
あり、民間委
託について、町民ヘメリ
ット、デメリットの周知
が大事である。

町政へ物申す

町益、民益のため、葬祭公園建設計画における費用
三養基西部葬祭組合加入の方が試算上は
3億5千万円程度少なくて済む
【町長】費用負担については今からであり
議長、常任委員長参加で進める

次頁から「一般質問に11人が激論

9月 定例会 案件賛否状況

第3回(9月)定例会		結果		表決数		議員名															
国立病院の廃止・縮小・民営化に反対し、地域医療と国立病院の充実を求める意見書		可決	14	14	0	吉	富	光	三	郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書		可決	14	14	0	馬	場	茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書		可決	14	14	0	多	良	正	裕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方財政の充実・強化を求める意見書		可決	14	14	0	古	川	輝	英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	14	14	0	古	川	勲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町児童体育館大規模改修建築工事請負契約の一部を変更することについて		可決	14	14	0	中	島	哲	夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成二四年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計補正予算(第1号)		可決	14	14	0	伊	東	健	吾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成二四年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計補正予算(第2号)		可決	14	14	0	伊	東	和	孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成二四年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		可決	14	14	0	筒	井	佐	千	生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成二四年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第3号)		可決	14	14	0	手	塚	隆	美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成二四年度農業集落排水処理事業箱川地区処理施設機能強化対策機械及び電気設備工事請負契約の締結について		可決	14	14	0	多	良	光	英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成二四年度農業集落排水処理事業箱川地区処理施設機能強化対策土木工事請負契約の締結について		可決	14	14	0	城	島	敏	行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐賀中部広域連合規約の変更について		可決	14	14	0	中	島	正	晴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町防災会議条例及び吉野ヶ里町災害対策本部条例の一部を改正する条例		可決	14	14	0	立	石	良	雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町地域農業水利施設ストックマネジメント事業分担金徴収条例		可決	14	14	0	大	隈	正	道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成三三年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定	14	14	0																
平成三三年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定	14	14	0																
平成三三年度吉野ヶ里町下水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定	14	14	0																
平成三三年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	14	14	0																
平成三三年度吉野ヶ里町一般会計歳入歳出決算認定について		承認	14	14	0																
専決処分の承認を求めることについて【平成二四年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第二号)】		承認	14	14	0																

※議席番号順

○=賛成

●=反対

欠=欠席

吉野ヶ里町における「空き家」対策は

【環境課長】倒壊の危険があるもの計23戸
今年12月の条例化を目指していきたい



筒井佐千生 議員

問 本来は、建築物は所有者や管理者などの責任により、適正に管理されるべきだが、少子化で家の跡継ぎがいらない、遠隔地への居住や経済的事情などにより適正に管理されていない、放置された「空き家」の老朽化により、地震・台風などによる倒壊や、火災また犯罪等の危険性など地域住民の生活環境の悪化が全国的に問題となっている。本町における現状は、どのようにあるか。

答 環境課長 区長に「空き家」のうち倒壊の危険があるもの、東脊振地区13戸、三田川地区10戸、倒壊の恐れはないものの東脊振地区41戸、三田川地区51戸となっている。

問 役場へ、苦情や相談はあつていないか。



▲管理されていない空き家

問 環境課長 雑草の繁茂、犬、猫のすみ家になったの苦情が年4〜5件電話連絡を受けている。

問 「空き家」の所有者、管理者の所在の確認、適正な管理を求める対応をお願いや、原因の把握はされているか。

答 環境課長 所有者の確認は出来ていますが、まだ調査段階で今後対応していく。

問 環境課長 鳥栖市を中心として「空き家」を「負の遺産」にしないため、「空き家」を有効活用した空き家バンクの取り組みはできないか。

答 環境課長 鳥栖市内では、みやき町他の5市2町で取り組みがなされているが、今後検討していきたい。

問 環境課長 鳥栖市を中心として「空き家」を「負の遺産」にしないため、「空き家」を有効活用した空き家バンクの取り組みはできないか。

問 組合数、加入者数、水田面積は。



▲集落営農に納入された大型機械

答 農林課長 9営農組合で組合員数314名、水田面積は535.9haとなっている。

問 農業機械の更新時期が来るが、どのような対応をするのか。

答 農林課長 営農組合の法人化が前提条件となり、佐賀中部農林事務所、普及センターを迎えて講演会を実施する。

問 各地で過去最高の気温や、真夏日の日数を記録するなど猛暑となり、熱中症による被害も発生している本町の取り組みは。

学校給食センター建設の検討を始めるべきでは

【学校教育課長】建設前提の検討委員会設置は考えていない



多良 正裕 議員

問 町の学校給食の取り組みは県内でワーストワンであると3月議会で指摘した、教育長は保護者アンケートの結果は95%が満足し感謝されていると答弁された。今回、給食問題を再び質問することにに対し保護者から意見が寄せられた。

答 教育長 意見をあげて頂きたい、それを受けて考えていく。

問 議員会は子会を思う保護者の気持ちを理解し給食センター建設を視野に学校給食について保護者として産地消の関係者



▲県内で町の学校給食がなぜワーストワンか考えてほしい給食献立部会

問 教育委員会は子会を思う保護者の気持ちを理解し給食センター建設を視野に学校給食について保護者として産地消の関係者

問 町長は、総合文化センター建設を進める前に町民の意見や疑問に対して真摯に答える説明責任がある。

問 町長は、総合文化センター建設を進める前に町民の意見や疑問に対して真摯に答える説明責任がある。

問 町長は、総合文化センター建設を進める前に町民の意見や疑問に対して真摯に答える説明責任がある。

防衛施設関連町交付金 隣接地に使わない3,487万円

【町長】今後検討し、基地周辺整備のために予算配分する



伊東 健吾 議員

問 特定防衛施設関連町交付金について、3,487万円、倍にして、基地隣接地周辺整備事業に利用出来ないのか。

答 企画課長 25年度以降は特に立野地区について、優先して事業を進める必要があると認識している。

問 吉野ヶ里町総合計画について、住民アンケート調査の目的は、5年前のアンケート調査と同じで229万円も使い税金の無駄使いでは、20年吉野ヶ里みんなの未来計画・吉野ヶ里総合計画が基本、コンサルタント頼みの計画でなく、企画課手づくりの見直しでよいのでは。

答 企画課長 反省点などを踏まえた上で、

でアンケート結果等を基礎資料として策定する。

問 町の土地利用計画について、駅北口・南口、歴史公園周辺、自衛隊東三角地、インターチェンジ周辺、立野線南中枝間吉田区画整理計画区域、萩原・中瀬尾・目達原・新宮田の遊休地、目達原郡境区域、景観のよい東脊振の中山間地域など土地の有効利用はなぜ出来ないのか。

答 企画課長 今後土地利用計画に沿って進める。

問 国営筑後川土地改良事業賦課金について、農家負担10アール当たり1万円になるうとして、こんな多額の負担金になるとは、町は言っていない。

答 町長 町の財政も厳しく土地改良事業決済金等が検討されているので、今後の状況を見て検討する。

問 新エネルギービジョン等の事業計画について、光・小水力・バイオマスなどの新エネルギー事業の計画は、他市町では個人で150KWH、6500万円の起債事業も推進されているが、町の推進計画は、また他市町は固定資産税等の減免支援策がある。再生エネルギー計画はないのか。

答 企画課長 平成25年度に事業検討、計画し、またバイオマスエネルギー事業についても検討していきたい。

問 町組織、機構の見直し、行政サービスについて、課が多過ぎ、また、参事の充て職異動による仕事の空洞化など、行政サービスの低下が見えるが。

答 副町長 近年退職者が多く、指摘のところは、改めたい。



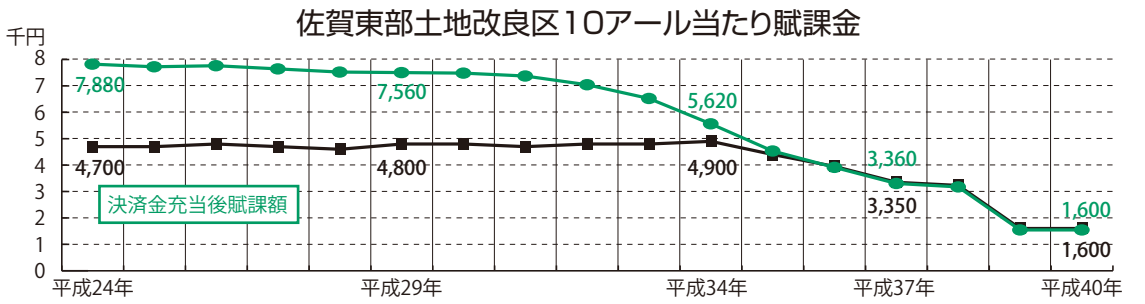
基礎完了 畑でつくる電気エネルギー



再生エネルギー 太陽光発電 遊休地活用 買取価格10kW以上(40円/kWh)

同規模公民館は知らない。子供交流館も良く考え、建設すべきでは。文化ホールは固定席ではなく、多目的に利用出来る、施設が良いと考えるが。

答 社会教育課長 今後検討委員会等で検討する。



両中統合「吉野ヶ里中学校」の実現は

【町長】国の施策に基づいて判断していく



馬場 茂 議員

問 合併から6年が経過したが、今双方共に中傷的な意見が聞こえて来る。町民融和を望むならば思春期の最盛期であるこの時期を、同じ学舎で一緒に学び、一緒に遊んでこそ本当の仲間意識がはぐくまれるのではないか。

答 教育長 今後10年間の推移をみると平成36年には、生徒比率が1対2となる事や、文科省の35人学級を考えれば、積極的に検討しなければならぬ。



空想「吉野ヶ里中学校」複合写真

問 町長 この問題は現校舎の耐用年数の事や、今までの投資、それから人口減や道州制等を考え、中学校の統合だけではなく、庁舎や幼稚園・保育園の事もあるのでは、私の頭に描いてはいるが、時期については

答 町長 この問題は現校舎の耐用年数の事や、今までの投資、それから人口減や道州制等を考え、中学校の統合だけではなく、庁舎や幼稚園・保育園の事もあるのでは、私の頭に描いてはいるが、時期については

問 国の施策に基づいて判断をしたい。

答 町長 最近一部の生徒による問題行動が続く、学校は元より、町や地区、警察にも巡回パトロールを実施してもらっているが、両中学校の現状は。

問 学校教育課長 スクールサポーターや教職員の努力で、学校内は落ち着いているが、一部不登校の生徒がいる。パトロール等も抑止にはなったと思うが、やはり一番は、学校内で教職員が解決しなければならぬ問題であるから、もっと努力をしてみたい。

答 教育長 生徒たちに対して、何回も訪問したりして努力はしているが、保護者との気持ちのすれちがいや、家庭内の事情もあり、非常にむずかしい問題である。

問 スクミングガイの対策 町より防除剤の補助は頂いているが、現状は今だに大きな被害を受けている。

答 町長 防除剤の補助は頂いているが、現状は今だに大きな被害を受けている。

問 へんの対応をお願いしたが、その後検討されたか。

答 農林課長 防除剤としてスクミンポンの子を放流されているし、私の地区の水路には鯉を養殖している。鯉のいる所は卵も少ないようだから、そういう取り組みはできないか。

問 白石では、貝を食べてくれるスッポンの子を放流されているし、私の地区の水路には鯉を養殖している。鯉のいる所は卵も少ないようだから、そういう取り組みはできないか。

答 町長 長きに渡る問題であるが、特効薬が見い出せない。生態系を考えながら、対応していきたい。

問 機能別団員制度は 新入団員の確保等、平日昼間の火災事等に対応策として、提案していた機能別団員制度は、その後検討されたか。

答 農林課長 小ぶりはあるが、収穫量は約600kgがこれ、内300kgを販売する予定になっている。

問 まぼろしの特産品「吉野ガーリック」 今年も乾燥施設も整い、収穫量も望めると前回回答をもらっていたが、現況は。

東脊振インター 周辺開発(企業誘致)の考えは

【町長】 色々な面でクリアする問題がある



伊東 和孝 議員

問 北部地区振興について、合併後6年経過したが、道路整備は計画通り推進できていると思うが、水路整備については、未改修の所が目につく。特に松隈地区南の水路、坂本地区東、中島川の水路である。

答 農林課長 松隈地区南、坂本地区東水路は、ほ場整備未済の水路であり、農地補助事業対象外であり、土地利用を踏まえた中で検討したい。

問 ほ場整備をしていないと、水路整備に補助金がないのであれば、五ヶ山ダム地域振興基金を使っても改修すべきではないか。

特に坂本東、中島川は地区より要望も上がっている。川沿いには数戸の民家もあり、大雨時の増水による浸食被害が出ている。

副町長 現在ダム振興事業の見直しを検討しているところであるが、事業が認められれば、改修を行っていき

東脊振インター周辺の開発について、昔みかん園、今では荒地となって、民間業者

行政主導での企業用地として開発する考えは。

企画課長 本町の国土利用計画において、工場等の立地は環境保全、公害防止のため工業適地への誘導推進が明記されているため、現在

交通の利便さ、インター周辺として、物流関係の業種に適した土地であると思

町長 インター北側の土取り跡地の問題は、地権者より西公園の土取り要望も出ている。地区全体との意見も聞

き、工場用地とした場合、水路など色々クリアする問題もある。

今即答は出来ないが、地区全体の意向であれば今後検討したい。

リサイクルセンター活用について

リサイクルセンター活用状況はどのようになっているか。

環境課長 22年度より古着、スチール缶の回収も行っている。実績は下表のとおりである。

22年度より急激に伸びている。ゴミの減量化推進に対しての住民の意識の向上であると思うが。

資源ゴミとしての回収リサイクルを今後推進するために、広報等での売却金の報告をし、住民の目に見えるような使い方、環境整備等に使ったら住民意識も、もっと向上するのでは。

今年から始まった新学習指導要領に基づき、夏休みの短縮や土曜日に授業が計画され、一部の学校では実施されている。本町ではどのような取り組みをされているか。

学校教育課長 地域に根ざした学校として指導PRしている。年一回生徒、保護者を対象に実施している。夏休みは地区活動に積極的に参加させている。

教育長 2学期に小学6年生を対象に説明会を行っている。小学校に連絡を取り中高一貫校の願書受付の前

また、オープンスクールは2週間実施している。

町内小中学校のあいさつ運動は、

た、指導はどのよう

学校教育課長 小中学校の最重要課

年、学級集会等で指導

学校では改善が見られ

るが、地域ではあいさつ

が少ないとのことで、地

域でも進んであいさつが

できるよう指導している。

〈収集実績表〉												
年度	新聞	その他紙(雑誌類)	シュレッダー	段ボール	紙パック	アルミ缶	スチール缶	古着	ペットボトル	ペットキャップ	重量計(kg)	売却金額合計(税込み)(円)
21	100,210	75,800	1,330	28,520	1,550	4,350	210	800	7,214	-	219,984	1,401,978
22	98,120	89,450	2,430	36,900	1,850	6,000	2,250	10,880	10,150	550	258,580	3,429,008
23	104,390	91,320	1,730	33,510	1,850	6,130	2,370	12,270	11,920	620	266,110	3,848,007

環境課長 大変良

い提案を戴いた、

今後そういった方向で使

い方を考えたい。

本庁機能を東脊振庁舎に移転しては

【総務課長】庁舎の利活用は合併協議会で決定



手塚 隆美 議員

問 本庁機能を現在の三田川庁舎から東脊振庁舎へ移転できないか。

答 総務課長 庁舎の利活用は合併協議会で決定されている。それを基本に現在まで色々な整備を行ってきた。現時点では現状維持で

いく。

東脊振庁舎は国道385号沿いにあり、インターチェンジの近くにある。企業誘致や観光のPRにも最適な場所である。また、近年くるであろう道州制の施行の時、地域交通の拠点として中心となる場所と思われるが。

町長 色々な事はあるが、現在のところ考えていない。

副町長 町長に次ぐナンバー2にもかわらず席や場所があまりにも貧弱である。副町長らしい処遇はできないか。また、東脊振庁舎には旧村長室があるが、それを利用できないか。特に東脊振庁舎には副町長が常駐すべきではないか。

町長 職員の監督や来客の接待など

幅広く活動してもらうため現在の場所になっている。東脊振庁舎常駐は色々問題がある。月曜日は朝礼に出席し、その後は毎日のように行っている。

新人職員の教育について、最近新人職員のあいさつが少ないと感じる。新人教育はどのようになっているか。また、朝の出勤も遅いとも聞くが、どのような指導をしているか。

総務課長 新人研修は県自治修習所にて4月18日より20日まで研修が行われた。内部研修として5月30日から7月9日まで18日行っている。また、町内各種イベントに参加させ、町民との融和に努めている。

朝の出勤に対しては今後指導していく。



▲地域に根ざした中学校を目指す東脊振中学校

中学校のPRは

は、夏休みを利用しオープンスクール等を開き、生徒募集をしているが、本町中学校ではどのような取り組みをしているか。

また、夏休みはどうし

県内ワースト3 犯罪発生が多い町をどう立て直す

【町長】警察、各種団体に力を借りていく



城島 敏行 議員

問 2008年に交通事故死者数増加率で、佐賀県が全国ワーストになった。

答 現在でも佐賀県では、インターネットなどを使った多彩な犯罪が起き、さらに、声かけ事案も多く発生している。

身の回りに潜むさまざまな危険を、改めて見直し、対策を考えることで交通事故や犯罪のない心安らぐ故郷・吉野ヶ里町になるが、今回の総合計画住民アンケート調査結果報告では、行政の防犯、交通安全施設整備対策の不備が、住民アンケートに不満となって表れている。

今年7月20日の新聞を読まれ、吉野ヶ里町が防犯、交通安全に対する対策、施設整備が不備な

めに、佐賀県10市10町の中で、3番目に犯罪発生が多い町と記載され、吉野ヶ里町が不名誉な町になっている。

したのか。せめて生産年齢15歳以上からアンケートを取るべきだったと思うが。

問 この不名誉をどのように立て直すのか。

答 町長 たしかに不名誉な結果になっているが、できるだけ防犯、交通事故のない町にしなければいけないと思っている。

答 企画課長 総合計画の基本構想、前期基本計画を、平成18年度、19年度の2ケ年で住民アンケートなどを踏まえて作成している。

化等を把握、比較する必要があるため、前回と同条件で実施した。

ダム周辺に ヘリポートを

問 佐賀県でのドクターヘリは、福岡県と長崎県との共同運航で、佐賀県全域をカバーしているが、2003年福岡県、2009年長崎県と共同運航が始まった

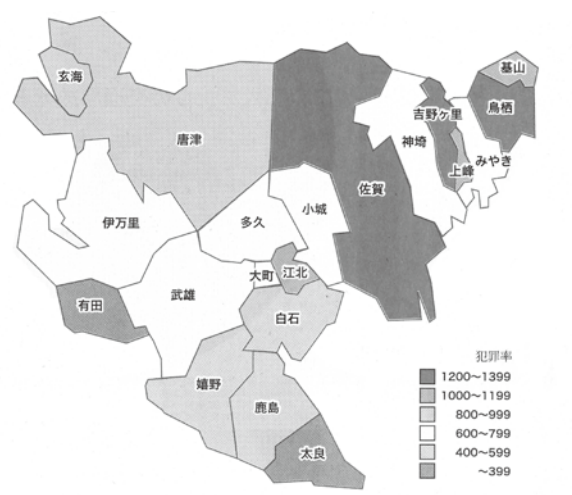
翌年から、利用回数が急増している。佐賀県もいろいろな状況を踏まえ、県医師会や警察、消防関係者で、佐賀県独自のドクターヘリ導入の検討に入り、今年の秋までに結論を出すと言われている。

吉野ヶ里町もドクターヘリ、災害時に対応できる環境整備を進めておくべきと思うが。

五ヶ山ダム周辺にヘリポートの建設はできないのか。

答 企画課長 福岡県五ヶ山ダム建設事務所に確認したところ、ダム湖畔にヘリポート建設の計画はなく、ヘリコプターは一定のスペースがあれば離発着が可能であり、そのスペースは、国道やダム湖周辺の公園にて十分に確保される。

災害時、緊急時にヘリによる救急救命活動は重要なことであり、今秋にも開催される五ヶ山ダム周辺整備検討委員会提案していく。



▲佐賀新聞で報道された県内犯罪発生マップ

県内の健康寿命は何歳で、全国で何番目か

【保健課長】男性70・34歳で29番目 女性73・64歳で25番目



古川 勲 議員

問 町の介護認定者数及び介護受給者数の動向はどうなっているのか。

答 福祉課長 介護認定者数は、平成14年度368人が23年度554人となっており、10年間で1・5倍。介護受給者数は、同じく264人が456人となっており、10年間で1・7倍になった。

問 本県の平均寿命と健康寿命は何歳で、全国で何番目か。平均寿命と健康寿命との差は「不健康な期間」で、

この差が拡大すれば、医療費や介護給付費が多くなる期間が増大することになる。

答 保健課長 本県の平均寿命は、男性78・31歳で33番目。女性86・04歳で17番目。健康寿命は男性70・34歳で29番目、女性73・64歳で25番目となっている。

問 行政や各種団体の健康づくり事業を行っているが、事業報告の検証は行っているのか。

答 保健課長 保健対策推進協議会へ中間報告及び次年度計画案の提示、国保の特定健診の状況及びレセプト分析により、生活習慣病の重症化予防の指導を行っている。

問 こ



▲歩行バランス向上と認知機能低下防止に効果があるフマネット出前教室

問 西九州大と町社会福祉協議会が連携協定を結ばれたが、

らの健康づくり計画には、平均寿命の伸びを健康寿命の伸び率が上回るとする目標を盛り込む方針が必要と思うが。

問 携したフィットネスクラブを誘致する考えはないか。

答 町長 本年度において「吉野ヶ里町健康増進計画」を策定の予定。①健康寿命の

問 調査内容と結果はどうなのか。

答 環境課長 倒壊の危険があるもの23

いくことになっている。

傍聴者の声

9月議会定例会の一般質問が、10日(月)から13日(木)までの4日間行われました。今議会は、傍聴者の数は少なかったのですが、それでも緊張したり、気合が空回りやらずで、思いが伝わったのか、疑心暗鬼でした。

今回は、傍聴者3名の方から投稿いただきましたので、「傍聴者の声」として掲載いたします。

傍聴者の皆さん！ありがとうございます。

同一の質問は 議員間で 調整を

9月定例議会に3日間傍聴しました。常にあるのですが同じ質問が必ずあります。今回も文化会館問題に3名、空き家問題に3名、めいぶつ館問題に2名、総合計画問題に2名でした。出来るならば議員間で調整してほしいものです。幅広い質問をお願いしたい。

特に文化会館の件に質問されますが、質問者も行政答弁者も進歩がない。やはり住民投票するか、建設検討委員会を公開して、住民参加で結論

町政は 町発展のため 即実行を

9月11日に久しぶりに議会傍聴に行きました。その中で仮称総合文化センター建設計画に関心があつたからです。

総合文化センターは建設計画の話が出てから、もう長い年月が過ぎていますが、今だになかなか先に進んでいないようです。今回もはつきりした答弁がきけませんでしたが、今だに維持管理費のことも充分検討されていないように見受けられました。

今回は、傍聴者がとても少ないようでした。町はもつと町政に関心を持たれるように、町民にアピールした方がいいと思います。

小・中学生の学習の中に議会傍聴を取り入れたらどうか。小さい頃から町政に興味を持ち、これからの町の発展につなげて行つて欲しいと思います。

吉田 徳安輝雄

議会では質問や答弁をされたことが、実際の町政にすぐ取り入れられていないように感じられました。執行部は町民のために、また、町発展のために即実行をしなければい

勉強・努力不足、 仕事の怠慢

議会質問がなく、質問に立たない議員は、勉強不足、努力不足、仕事の怠慢で議会がある時だけでなく365日勉強、議員としての仕事、努力が必要だ。それができなければ議員を辞めていただく。そうしないと議員報酬の横領にしかならな

い。よって、議員削減5名、定数10名で十分で良いのである。そこで提案、質問しない議員の持ち時間、90分を質問したい人に配分、充実した質疑応答にしてもらいたい。14名×90分1260分、仮に12名質問に立つなら、一人の持

けないと感じた。今後時間も見つけて議会傍聴に行きます。執行部も議会ももっともつと努力してください。

傍聴者 H・I

ち時間105分とする。14名全員質問に立つときは90分である。

無茶苦茶な事を書きましたが、お許しください。

定例議会での質疑応答は、その場限りでなく、町、町民のため、質問者も答弁者も真剣に考え、知恵を絞り実現するよう努力すべし。「検討します」も良いが本気での検討をお願いしたい。そうしないと検討しますを検討しなくてはならない。

上三津東 松田方幸文



編集 後記

9月議会は、一般質問者11名、一議員90分以内の持ち時間で、熱く町づくりについて議論がなされた。

議論の全てを議会だよりに載せられないが、議事録は議会事務局で閲覧できます。一度は是非ご覧ください。

議会質問の答弁で、「今後前向きに」「今後近隣市町を見て検討する」が余りにも多く、結論に至らず、予算化も遅れ、このスピード時代に、これでは町は停滞し他市町に遅れてしまう。

もっともつと、積極的な行政サービスが必要ではないか。

町民皆様方の議会傍聴をお待ちします。

○議会広報特別委員会

委員長	古川 勲
副委員長	古川 輝英
委員	中島 正晴
委員	城島 敏行
委員	多良 光英
委員	伊東 健吾
委員	馬場 茂